

【参考】ソウルアニメーションセンターの概要

- 「ソウルアニメーションセンター」は、ソウル市の外郭団体である「ソウル産業通信振興院」のコンテンツ産業振興の一環として 1999 年に設置された施設。総面積 800 余坪・4階の空間に、マンガ・アニメ関連の各種施設が多様に備えられている。
- 施設は、アニメをはじめとした映像媒体のコンテンツを扱った「アニメーションセンター」と、マンガをはじめとした紙媒体のコンテンツを扱った「マンガの家」の2つに大別される。
- しかし同施設は産業振興のために、主に韓国国内でのアニメやマンガの需要開拓を図るために設置された施設であり、観光拠点としての性格を持った施設とはなっていない。

（参考）ソウルアニメーションセンター

ソウルアニメーションセンターの立地

- ソウルアニメーションセンターは、ソウル市の中心に立地している南山(ナムサン)のふもとに位置する。
- 周辺は、美術館や博物館、高級住宅街が立ち並ぶ閑静なエリア。南山(ナムサン)の頂上に「ソウルタワー」という観光客が多く集まる施設があるが、「ソウルタワー」へはロープウェイやバスを使っていくことが多いため、これらの施設との連続性はあまり見られない。
- ソウルアニメーションセンターの北側には、韓国の映画文化の中心地である「忠武路(チュンムロ)」地区が立地する。「忠武路(チュンムロ)」地区は映画館が多く立ち並ぶほか、映画製作のスタジオ等も立地する。



(参考)ソウルアニメーションセンター

ソウルアニメーションセンターの施設構成

- ソウルアニメーションセンターは、ソウル市の外郭団体である「ソウル産業通信振興院」のコンテンツ産業振興の一環として1999年に設置された施設。総面積800余坪・1階の空間に、漫画・アニメ関連の各種施設が多様に備えられている。
- 施設は、アニメをはじめとした映像媒体のコンテンツを扱った「アニメーションセンター」と、漫画をはじめとした紙媒体のコンテンツを扱った「漫画の家」の2つの大別される。

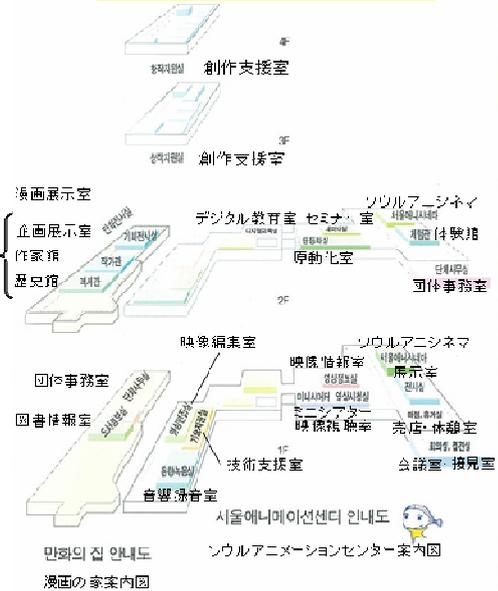


映像媒体のコンテンツを扱った「アニメーションセンター」



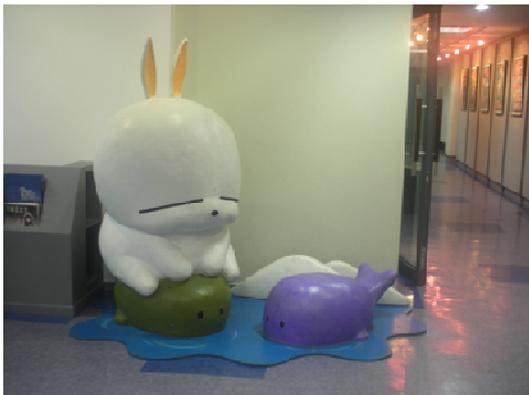
紙媒体のコンテンツを扱った「漫画の家」

ソウルアニメーションセンターの施設構成



(参考)ソウルアニメーションセンター

映像媒体のコンテンツを扱った「アニメーションセンター」



玄関には、韓国の有名なアニメのキャラクターの模型が置かれている



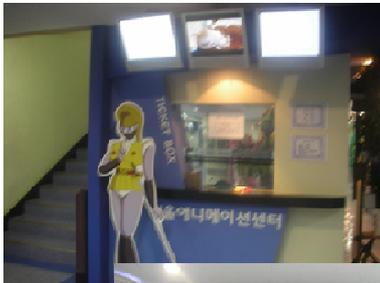
アニメーションを製作するための技術を紹介するコーナー



映像情報室では韓国で制作されたアニメを見ることができる

(参考)ソウルアニメーションセンター

映像媒体のコンテンツを扱った「アニメーションセンター」



「アニメシアター」ではアニメ映画が格安料金で見られる



展示室では地方の国立大学の漫画学科の卒業制作展が開催

(参考)ソウルアニメーションセンター

紙媒体のコンテンツを扱った「漫画の家」



「漫画の家」1階の図書情報室の利用光景
1ヶ月あたり1500~2000名が利用している



図書情報室には、韓国だけでなく日本・欧米といった国外の漫画も含む計13,300冊を所蔵



専門資料室には、一般的な漫画ではなく漫画を制作するためのノウハウを記した論文を所蔵

(●考)ソウルアニメーションセンター

紙媒体のコンテンツを扱った「漫画の家」



韓国漫画の著名な作品のキャラクターとその作家名を展示

「漫画の家」2階の漫画展示室には、漫画の歴史や韓国漫画の著名な作家を紹介するコーナーもある

韓国の過去から現在までの漫画雑誌も紹介されている



(●考)ソウルアニメーションセンター

紙媒体のコンテンツを扱った「漫画の家」



アニメーションセンターの支援を受けて出版された作品

1階の図書情報室には公募への提出作品のオリジナルがそのまま資料として保存されている

「ソウルアニメーションセンター」では、将来性のある漫画家の卵を公募で募集して、受賞作品についてはその出版を支援するという取り組みを行っている。ショーケース内に展示されている作品は実際に出版支援を受けた。

